



【利用対象】豊中市内に在住の年少～小学2年生、且つ保護者同伴で通所が可能な方

保護者が子どもの発達特性、強み・弱みをより具体的に理解し、子どもに合わせた支援や環境的配慮をご家庭で日常的に行えることを目標にした保護者支援のためのプログラムを行う事業です。保護者が子どもの特性、強み・弱みを理解できるよう、小集団の中での子どもの行動を客観的に観察する機会を設定します。

発達支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きや排泄など、ご本人が生活に必要な基本的技能を獲得しやすい工夫を評価して取り組みます。また、必要に応じて場所を区切って設定したり、活動時間を視覚的に示したりします。 例：手順書を使用して歯磨き 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団で行う活動の場面において、ご本人にとって理解して取り組みやすい手順やルールなどを設定し活動します。また、設定する活動内容や提示するルールはご本人の感覚や認知の特性を考慮して提供します。 例：手順やルール、順番を写真や文字などで視覚的に示す 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・どこで何をやるのかやしたいことがいつできるのかなど、ご本人が理解して取り組みやすい環境設定を評価して取り組みます。また、「この活動をするときはこの場所」と場所と活動を1対1にすることにより、今何をやる時かがわかりやすくなるよう、環境を整理します。 例：活動ごとに場所を分ける、衝立やマットで場所を区切る ・遊びやおやつ・課題などの各活動の終わりや、今の活動が終わったら次に何をやるのかなどをご本人がわかりやすくなるような手段を検討します。 例：スケジュールやタイムタイマーなどで活動の見通しや時間の幅を視覚的に示す 	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が自分の意思を適切に相手に伝えやすい方法を検討して取り組みます。事前に適切な伝え方を視覚的に示す、絵カードを用いるなどご本人が伝えやすい方法を探ります。 例：物の名称が分かりやすいようおもちゃの選択肢を写真や文字で視覚化する 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団で場所や物を共有して過ごす環境を設定します。また、必要に応じて集団で活動するうえで必要な手順やルールをお伝えします。 例：グループ活動で工作やゲームを設定 	
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本人やご家族の意向を踏まえて、就学などに関する情報について、職員より保護者に提供します。 ・本人の特性やニーズなどを環境の変化（入園・入学・進級など）の際に保護者が本人のことを移行先の機関へより伝えやすくなるよう、豊中市の「支援手帳」について情報提供します。保護者が記入するうえでわからないことがあれば職員がサポートします。 ・職員より就学先などに対して、カラフルでの様子や配慮することなどの情報を引き継ぎます。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもの行動を客観的に観察する機会を設定し、職員が本人に合わせた支援や環境的配慮をモデル提示して実施する場面を保護者に見ていただきながら、職員より本人の特性について保護者にフィードバックします。 ・個別に面談の機会を設定します。また、座談会など保護者同士が交流できる機会を設定します。 		
地域支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本人にかかわる地域の関係者、関係機関との連携のために、カラフルや家庭、地域生活などのそれぞれでの本人の行動について、職員より各機関へ情報共有する機会を設定します。また、評価した本人の特性や有効な支援の手立てについて、保護者が本人に関わる各機関に伝えられるよう整理します。 		